



汐見の和

横浜市立汐見台小学校
令和4年6月27日
学校だより 7月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子

電話 045-761-1561

FAX 045-754-6409

ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



学びの始まり～「探求心と問題解決力の育成」に寄せて～

学校長 犬塚 真

学校の周囲にもきれいなあじさいの花が咲き始めました。このあじさいの花は土壌が酸性だと青、アルカリ性だと紫色になると言われています。南門側の斜面には青い花が咲いているのですが、汐見台病院側には紫色の花が多く、同じ敷地であっても土壌に違いがあるということになります。身近なところにも様々な不思議があるものです。



6月11日には土曜参観と引き渡し下校訓練を実施しました。保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染症拡大防止にもご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。また、午後の引き渡し下校訓練は午前中の参観後、再度出直していただくかたちでしたが、たいへん多くの方々にご参加いただきました。今回、エアコンの不具合で急遽教室を変更した学級がありましたが、ご案内に行き届かない点があり、当該学級の保護者の皆様にご迷惑をおかけいたしましたこと、お詫び申し上げます。

さて、1年生は今、生活科で校内のいろいろな人の仕事について学習しています。先日は私も1年生の教室に招かれ「校長室はどんなところですか。」「校長先生はどんな仕事をしているのですか。」「校長先生も給食を食べるのですか。」など、子どもたちの様々な疑問について話をさせてもらいました。

身近な人や身の回りの出来事に興味や問いをもつことはとても素晴らしいことだと思います。学びの種がそこにあるからです。自分が小学生の時のことを思い返すと、当時は校長先生が何をしているのかなど、まったく興味もなく、知ろうともしていませんでした。小学校の授業もずいぶん変わってきています。

今年度の中期学校経営方針には、重点的な目標として「探求心と問題解決力の育成」を掲げています。探求心とは「物事に興味をもち、追究しようとする心」です。あらためて「学びの始まり」を具体的な子どもの姿で挙げてみると、例えば、気にも留めていなかったことが気になってくる、「他人事」が「関心事」になり「自分事」に変容していく、「何となく」だったものが徐々に「はっきり」としてくるといったことなのではないかと考えています。日々の授業でも、単に知識や技能を教え込むのではなく、子どもの好奇心や興味を上手に引き出し、「知りたい」「できるようになりたい」という心情をふくらませながら進めていく指導を大切にしたいものです。何より子どもたちには学ぶことが好きになってほしいのです。

今回の生活科の授業で、とある1年生が「校長先生は、見えないところでいろいろなお仕事をしているんだね。」という感想を書いていました。私自身にとってもうれしい感想であったことは言うまでもありませんが、その子の気づきと学びの深さに感心しました。見えないものを探ろうとする姿勢が時には当たり前前の日常に対してあらためて感謝の思いを抱いたり、自分たちが大切にされているという自尊感情につながったりすることもあります。ここから発展するさらなる成長へも大きな期待がもてます。

あと1か月ほどで夏休みを迎えます。学校から離れ、家庭や地域で過ごす時間が多くなりますが、生活の中での気づきや発見を大切にしたり、身の回りの小さな不思議に向き合ったりすることができるとう有意義な日々になると思います。また、くれぐれも健康と安全に気を付けて過ごしてほしいと願っています。